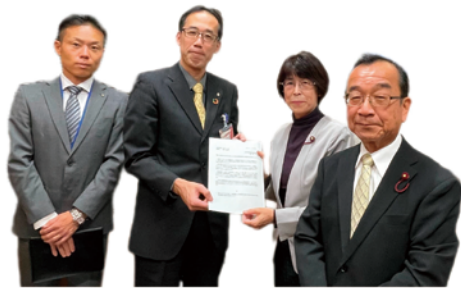


小学校給食の無償化

日本共産党市議団が申し入れ

日本共産党名古屋市議団は2023年11月24日、河村たかし市長と坪田知広教育長にたいして、物価高騰による保護者の負担を軽減するために、国からの交付金を活用して小学校給食費を無償にしよう申し入れました。



給食費無償化の請願署名約12,000名分が市議会に

2023年11月24日、学校給食の無償化を求める名古屋市民の会のみなさんが、市議会へ小学校給食の無償化などを求める請願書名約12,000名分を提出しました。日本共産党市議団は紹介議員になりました。



「国の負担で給食無償に」国へ意見書提出

11月定例会最終日、「国の負担で学校給食の無償化の早期実現を求める意見書」が全会一致で可決されました。国だけでなく愛知県に対しても学校給食費の無償化の早期実現を強く要望しています。

健康保険証存続求める請願審査 岡田ゆき子議員以外に発言なし

国が予定している健康保険証の廃止にたいして、存続を求める請願が提出され、市議会財政福祉委員会で審査が行われました。岡田ゆき子議員は、マイナ保険証のトラブルを指摘し、「保険証の存続を国に求めるべき」と発言。他の委員はダンマリでした。

市営住宅駐車場 料金値上げ撤回を



今年4月から予定されている市営住宅駐車場料金の値上げ。日本共産党市議団は2023年11月15日、値上げ撤回を市に申し入れました。

誰にでも学び直しの機会と日本語指導の機会を!

9月定例会

岡田ゆき子議員

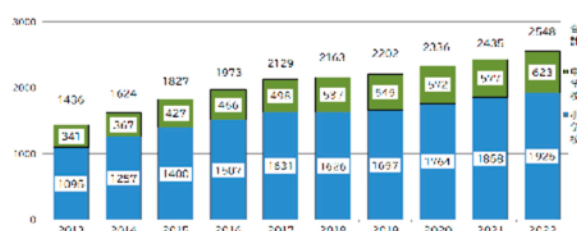
9月定例会で岡田ゆき子議員は、日本語指導を必要とする小中学生が急増している問題を取り上げ、抜本的対策を求めました。

圧倒的に足りない!

初期日本語教室

初期日本語学習が必要な子どもが急増し、2500人以上に。ところが、初期日本語集中教室

日本語指導が必要な児童生徒数の推移
(名古屋市内 令和5年5月1日時点、単位:人)



室は宮前小学校（北区）と東海小学校（港区）の2教室しかなく、対面式の授業が受け入れられる児童・生徒数は一日8人程度です。



岡田議員は「初期日本語集中教室は各区に1か所は必要だ」と求めました。教育長は、「（「初期教室」の）待機期間が生じていることは課題だと認識している。人材と空き教室の確保が必要で、全区設置は困難だが、対面指導や遠隔型指導を効果的に行う方法を研究する」と答えました。

夜間中学が開設へ

岡田議員が本会議質問で要求

2025年4月に市立夜間中学が開校する予定です。夜間中学は不登校など様々な事情により十分な教育が受けられず中学校を卒業した方や、外国籍の方等が学ぶ場として、近年大変ニーズが高まっています。全国では設置が進んでいますが名古屋市にはありませんでした。

2022年6月定例会で、岡田議員が名古屋市も夜間中学の設置を急ぐよう求めました。2023年12月、名古屋市立夜間中学設置基本計画が示され開校に向けた準備が進められています。

急増する不登校 フリースクールへの補助など支援策拡大を

11月定例会

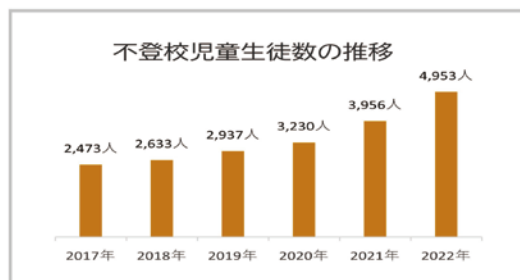
みつなか美由紀議員

みつなか美由紀議員は、11月定例会で全国的に急増している不登校児童生徒への対応策について質問しました。

市内の不登校 5年間で2倍に



名古屋市内の不登校児童・生徒は4,953人。5年間で2倍に急増しています。みつなか議員は「背景には画一的な教育、学力重視の競争的教育がある。教員不足や長時間労働で、子どもたちの相談にゆったりと応じられないことも考えられる」と指摘しました。



「適応相談センター」を各方面に

市は「子ども適応相談センター」を西・中・南各区に設置（北区に準備中）し、教育相談や適応指導、個々のペースに合わせた活動・学習等を支援しています。

みつなか議員は「遠方なので利用を諦めた」

という声もある。市内各方面にバランスよく設置すべき」と提案。教育長は「他の支援策を踏まえ総合的に検討したい」と答えました。

フリースクール「利用料が大変」

みつなか議員は、フリースクール等を運営する民間団体との連携についても質問。「民間フリースクールの利用者や利用を希望する保護者から、『月に3、4万円もの利用料は大変』『内容がいいにしても、経済的な理由で利用できない』などの声が寄せられている。民間フリースクールの利用料補助制度の創設など様々な支援を広げてほしい」と求めました。

11月定例会 みつなか美由紀議員

介護保険料の引き下げと負担軽減策を

愛知県内一高い介護保険料

物価高騰が市民の暮らしを直撃する中、名古屋市の介護保険料は愛知県内で最も高くなっています。11月定例会で、みつなか美由紀議員は、来年度改定予定の介護保険料を引き下げよう求めました。

2024年4月からの第9期介護保険料改定を前に、名古屋市は第9期名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画「はつらつ長寿プランなごや2026」（案）を策定しました。今でも高い介護保険料を6,600～6,900円（月額基準額）とする案を示しています。

局長「高齢者の負担は重くなっている」

みつなか議員は「制度発足時から保険料は2.3倍に膨れ上がっている。物価高騰の中で、とくに65歳以上の保険料負担は大変重くなっている」と市の認識を問いました。

健康福祉局長は「物価高騰が続き、年金額も十分に上がらない中で、高齢者にとって負担が重くなっていると認識している」と答えました。

低所得者への負担軽減策を提案

みつなか議員は「これ以上の値上げでなく、むしろ軽減すべきだ」と述べ、保険料の所得段階区分をふやし、低所得者の負担を軽くすべきだ」と求めました。

低所得者減免への一般財源投入は可能

みつなか議員は、一般財源を使っての低所得者減免制度を創設することも提案。局長は「国は、保険料減免に対する一般財源投入は適当ではない、としている」などと答弁しましたが、みつなか議員は「一般財源投入を禁止する規定はなく、ペナルティもない」と指摘しました。



総合リハビリセンター 附属病院と福祉部門の運営が別法人に

9月定例会 岡田ゆき子議員

市は総合リハビリテーションセンター附属病院の運営主体を2025年4月に名市大に移管する方針です。9月定例会で岡田ゆき子議員が、市総合リハビリテーションセンター附属病院（瑞穂区）の名古屋市立大学移管に向けた条例改正案等について質疑しました。

総合リハビリテーションセンターは、相談→医療→訓練→社会復帰をトータルで支援する県内唯一の施設です。岡田議員の質問に健康福祉局長は「高次機能障害、視覚障害からの社会復帰、職場復帰に大切な役割を担う」と答えました。

日本共産党市議団は、本会議質問や財政福祉委員会での審査を通じて、①病院部門の市大化にあたっては、「相談」から医療・訓練を経て社会復帰に至るまでの、総合的で一貫性のあるリハビリテーションが提供できるよう、病院部門と福祉部門（指定管理）の人事の連携や、患者に関する情報共有が行われる仕組みなどをつくること②職員や障害当事者の懸念が払拭されるよう、丁寧に説明を行うことを求めました。



「金持ち優遇の市民税減税」「立往生の天守木造化」 河村市政が行き詰まり

2022年度決算 田口 一登議員が反対討論

市民税減税額トップは6,717万円

2022年度の個人市民税減税額(単位:万円)		
順位	氏名	減税額
1位	Aさん	6,717.3
2位	Bさん	290.9
3位	Cさん	286.5
4位	Dさん	285.2
5位	Eさん	258.6
6位	Fさん	251.3
7位	Gさん	202.2
8位	Hさん	195.3
9位	Iさん	194.6
10位	Jさん	181.3
計		8,863.2

富裕層優遇の市民税減税では、昨年度の減税額トップの方は6,717万円も減税されました。収入が1億7千万円を超える富裕層が50万円を超える減税の恩恵を受ける一方で、納税者の過半数を占める収入500万円以下の方は5,000円以下の減税で、市民税減税の恩恵は全くないか、わずかなものです。`金持ち減税、はやめて、税収を約94億円増やし、それを小学校給食費の無償化や国保料の引き下げ、奨学金の返還支援など、市民の暮らしを支える施策に活用すべきです。

名古屋高速の整備は住民の理解と納得を

名古屋高速の黄金インターの出入口追加整備、丸田町JCTの渡り線建設は「住民の理解と納得」が得られていません。新洲崎ジャンクションは実施設計で工事費用が、基本設計の2.5倍に膨張し、完成時期が4年延長されました。リニア2027年開業も見通しはなく、巨費をさらに投じて、整備を進める根拠はありません。

名古屋高速道路(アクセス向上)の費用		
場所	事業費	
	基本設計	実施設計
新洲崎JCT	430億円	1098億円
丸田町JCT	600億円	?
黄金出入り口	170億円	??
合計	1200億円	???
完成時期	2028年	4年 → 2031年

立ち往生している天守閣木造化

2023年6月のバリアフリー市民討論会での差別発言を招いた背景には、天守閣の最上階までの昇降を望む障害者への配慮より、「木造本物復元」を優先する河村市長のかたくな姿勢がありました。復元事業はすでに昨年度の段階で着工のめどがなかったのに、木造化を中止し、現天守閣の耐震改修へ切り替えるべきでした。

日本共産党 ニュース
名古屋市議団 278号
2024.2

〒460-8508
名古屋市中区三の丸3-1-1
名古屋市役所内
TEL: 052-972-2071
FAX: 052-972-4190